

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

認可

注2

東都大学 幕張ヒューマンケア学部 臨床工学科 (必要がある場合) ○○専攻

(旧名称：幕張ヒューマンケア学部医療テクノロジー学科（令和2年10月27日名称変更）)

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人青淵学園
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 シムチョウ ヤマシタ ヤスヒロ
事務長 山下 泰大

電話番号 048-574-2500

(夜間)

e-mail soumu@tohto.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：△△学科（平成△△年度より学科名称変更）)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「○○大学」
- ・学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

幕張ヒューマンケア学部

＜臨床工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人青淵学園

(2) 大 学 名

東都大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒261-0021

千葉県千葉市美浜区ひび野1丁目1番地

(〒366-0052 埼玉県深谷市上柴町西4-2-11)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理事長	オオツボ オサム 大坪 修 (平成20年11月)		
学 長	ナカジョウ トシオ 中條 俊夫 (平成25年9月)	ヨシオカ トシマサ 吉岡 俊正 (令和3年4月)	辞任による変更 (令和3年4月1日) (3)
学 部 長	カツベ ケンイチ 勝部 憲一 (令和2年4月)	ネモト セイジ 根本 清次 (令和4年4月)	任期満了に伴う変更。 (令和4年4月1日) (4)
学科長等	ホリウチ タカシ 堀内 孝 (令和3年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)
 - 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
 - なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
 - 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
 - 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
幕張ヒューマンケア学部 臨床工学科 学士（臨床工学）	休健衛生子関係（看護学関係及びリハビリテーション）	4年	40人	-人	160人	新規入学者を募集中	

- (注)
 - 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
 - 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	-人	-人	-人	-人	-人	-人	-人	40人	-人	40人	-人			
	-	-	-	-	-	-	-	40	-	40	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
志願者数	-	-	-	-	-	-	-	24	-	51	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
受験者数	-	-	-	-	-	-	-	21	-	44	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
合格者数	-	-	-	-	-	-	-	21	-	42	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
B 入学者数	-	-	-	-	-	-	-	8	-	25	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	0.62	-			

- (注)
 - 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
 - （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	7	-	7	-			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	25	-			
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
計	-	-	-	-	-	-	7	-	32	-			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注)
 - 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

対象年度	区分	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳		主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)	
				入学した年度	退学者数 うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人		
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人		
			令和元年度	- 人	- 人		
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人		
			令和元年度	- 人	- 人		
			令和2年度	- 人	- 人		
令和3年度	8 人	1 人	平成30年度	- 人	- 人		
			令和元年度	- 人	- 人		
			令和2年度	- 人	- 人		
			令和3年度	1 人	- 人	他の教育機関への転学(1名)	
令和4年度	32 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人		
			令和元年度	- 人	- 人		
			令和2年度	- 人	- 人		
			令和3年度	0 人	- 人		
			令和4年度	0 人	- 人		
合 計		1 人		1 人	- 人		

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例)・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
 ・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{8} = \boxed{12.5} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{32} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜幕張ヒューマンケア学部 臨床工学科＞

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
ヒューマンケアの基礎科目	大学入門講座	1前	1			5	2	1	5	2	
	ヒューマンケア概論	1前	1							1	
	心理学	1前		2						1	
	コミュニケーション論	1前		2						1	
	人間の生き方	1前		2						1	
	倫理と医療	1後		2						1	
	法律と医療	1後		2						1	
	社会福祉論	1後		2						1	
	カウンセリング論	1後		2						1	
	スポーツ健康科学 I	1前		1						1	
	スポーツ健康科学 II	1後		1						1	
	小計(11科目)	-	2	16	0	5	2	1	5	0	10
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	数学 I	1前	2				1				
	数学 II	1後	2	2			1				
	物理 I	1前	2		1						
	物理 II	1後	2	2	1						
	化学 I	1前	2		1						
	化学 II	1後	2	2	1						
	生物 I	1前	2							1	
	生物 II	1後	2	2						1	
	確率統計学入門	2前		2						1	
	小計(9科目)	-	8	10	0	2	1	0	0	0	3
	英語 I	1前	1								1
	英語 II	1後		1							1
	英語 III	2前		1							1
	科学英語	2後			1	1					
	小計(4科目)	-	1	2	1	1	0	0	0	0	1
	小計(24科目)	-	11	28	1	5	2	1	5	0	13

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
ヒューマンケアの基礎科目	大学入門講座	1前	1				5	2	1	4	2
	ヒューマンケア概論	1前	1								2
	心理学	1前		2			2				1
	コミュニケーション論	1前		2			2				1
	人間の生き方(未開講)	1前		2			2				2
	倫理と医療	1後		2			2				1
	法律と医療	1後		2			2				1
	社会福祉論	1後		2			2				1
	カウンセリング論	1後		2			2				1
	スポーツ健康科学 I	1前		1							1
	スポーツ健康科学 II	1後		1							1
	小計(11科目)	-	2	16	0	5	2	1	4	0	12
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	数学 I	1前	2				1				
	数学 II	1後	2	2			1				
	物理 I	1前	2		1						
	物理 II	1後	2	2	1		1				
	化学 I	1前	2		1						
	化学 II	1後	2	2	1		1				
	生物 I	1前	2								1
	生物 II	1後	2	2			2				1
	確率統計学入門	2前		2							1
	小計(9科目)	-	8	10	0	2	1	0	0	0	3
	英語 I	1前	1								1
	英語 II	1後		1							1
	英語 III	2前		1			1				1
	科学英語	2後			1	1					
	小計(4科目)	-	1	2	1	1	0	0	0	0	1
	小計(24科目)	-	11	28	1	5	2	1	4	0	14
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	解剖生理学 I	1後	2								2
	解剖生理学 II	2前	2								1
	病理学	1後	2								1
	生化学	2前	2			1					
	基礎医学実習	1後	1			2	0	0	0	1	2
	小計(5科目)	-	9	0	0	2	0	0	0	1	4
	医学概論(関係法規を含む)	1前	2			2					
	公衆衛生学	2前	2								1
	看護学概論	2前	2	2							1
	感染と免疫	2後	2								1
	薬理学	2後	2								1
	臨床検査学概論	2後		1							1
	小計(6科目)	-	6	5	0	2	0	0	0	0	5

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教		
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	医用工学概論	1前	1			4	2		2		
	電気工学 I	1後	2				1		1		
	電気工学演習 I	1後			1			3			
	電気工学 II	2前		2				1			
	電気工学演習 II	2前			1			3			
	電子工学 I	2前	2				1				
	電子工学演習 I	2前			1		1		2		
	電子工学 II	2後		2			1				
	電子工学演習 II	2後			1		1		2		
	計測工学	2後	2				1				
	機械工学	2後	2								
	医用工学実験 I - 1	1後	1					3	1		
	医用工学実験 I - 2	2前	1					3	1		
	医用工学実験 II	2通	2				1	2	1		
小計(14科目)		-	13	4	4	4	2	0	3	1	-
情報科学概論	情報科学概論	1前	2			1			1		
	情報リテラシー	1前	1					2			
	システム工学基礎	1後	2			1					
	情報処理技術基礎	1後	2			1					
	パソコン基礎演習	1通			2			2	1		
小計(5科目)		-	7	0	2	1	0	0	3	1	-
小計(30科目)		-	35	9	6	4	2	0	3	1	9
医療テクノロジーに必要な専門科目群	生体物性工学	3前	2			1				1	
	医用機械工学	3後	2			1					
	生体計測装置学	3後	2			2					
	医用機器学	3前	2			1		1	1		
	医用機器学実習	3後	1			1		1	1	1	
	医用画像診断装置学	3前		2							
	医用材料工学	3後	2			1					
	医用ロボティクス	3後		2							
	人工臓器概論	3後		2		1					
	小計(9科目)	-	11	6	0	3	1	1	1	1	2
	体外循環療法学	3前		2			1				
	体外循環療法装置学	3前	2			1					
	体外循環療法装置学実習	3後		1		1			1		
	血液浄化療法学	3前		2		1					
	血液浄化療法装置学	3前	2			1					
	血液浄化療法装置学実習	3後		1		1			1		
	呼吸療法学	3前		2			1		1		
	呼吸療法装置学	3前	2				1		1		
	呼吸療法装置学実習	3後		1				1	1		
小計(9科目)		-	6	9	0	2	1	1	2	1	-
医療テクノロジーに必要な専門科目群	医用機器安全管理学 I	2後	2				1		1		
	医用機器安全管理学 II	2後	2				1	1			
	医用機器安全管理学実習	3前	1				1	1	1	1	
	小計(3科目)	-	5	0	0	0	1	1	1	1	-
	医療情報処理技術	2前	2			1					
	医療情報処理技術演習	2前			1	1			1		
	医療情報システム	2前	2			1					
	医療情報システム演習	2前			1	1					1
	情報通信ネットワーク	2後	2			1			1		
	医療用IoT概論	3前	2			1			1		
	医療用IoTセキュリティ	3後	2			1			1		2
	医療画像情報処理技術	3後		2				2		2	
	人工知能(AI)	3後		2							1
小計(9科目)			10	4	2	1	0	0	4	0	4

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教		
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	医用工学概論	1前	1				4	2		1	1
	電気工学 I	1後	2					1		3	
	電気工学演習 I	1後			1					1	
	電気工学 II	2前		2				2		1	
	電気工学演習 II	2前			1			1		3	
	電子工学 I	2前	2				1			1	
	電子工学演習 I	2前			1		1		1	2	
	電子工学 II	2後		2			1			1	
	電子工学演習 II	2後			1		1		1	2	
	計測工学	2後		2						1	
	機械工学	2後		2							
	医用工学実験 I - 1	1後	1							3	
	医用工学実験 I - 2	2前	1							3	
	医用工学実験 II	2通	2						1	2	1
小計(14科目)		-	13	4	4	4	2	0	3	1	1
情報科学概論	情報科学概論	1前	2			1				1	
	情報リテラシー	1前	1					2		2	
	システム工学基礎	1後	2			1					
	情報処理技術基礎	1後	2			1					
	パソコン基礎演習	1通			2			2	1		
小計(5科目)		-	7	0	2	1	0	0	3	1	-
小計(30科目)		-	35	9	6	4	2	0	3	1	10
医療テクノロジーに必要な専門科目群	生体物性工学	3前	2			1					1
	医用機械工学	3後	2				1				
	生体計測装置学	3後	2			2					
	医用機器学	3前	2			1		1	1		
	医用機器学実習	3後	1			1		1	1	1	
	医用画像診断装置学	3前		2							
	医用材料工学	3後	2			1					
	医用ロボティクス	3後		2							
	人工臓器概論	3後		2		1					
	小計(9科目)	-	11	6	0	3	1	1	1	1	3
	体外循環療法学	3前		2				1			
	体外循環療法装置学	3前	2			1			1		
	体外循環療法装置学実習	3後		1		1			1		
	血液浄化療法学	3前		2		1					
	血液浄化療法装置学	3前	2			1					
	血液浄化療法装置学実習	3後		1		1			1		
	呼吸療法学	3前		2			1		1		
	呼吸療法装置学	3前	2				1		1		
	呼吸療法装置学実習	3後		1				1	1		
小計(9科目)		-	6	9	0	2	1	1	1	1	1
医療テクノロジーに必要な専門科目群	医用機器安全管理学 I	2後	2					1		1	
	医用機器安全管理学 II	2後	2					1	1		
	医用機器安全管理学実習	3前	1				1	1	1	1	
	小計(3科目)	-	5	0	0	0	1	1	1	1	-
	医療情報処理技術	2前	2			1					
	医療情報処理技術演習	2前			1	1			1		
	医療情報システム	2前	2			1					
	医療情報システム演習	2前			1	1					1
	情報通信ネットワーク	2後	2			1					
	医療用IoT概論	3前	2			1			1		
	医療用IoTセキュリティ	3後	2			1			1		2
	医療画像情報処理技術	3後		2				2		2	
	人工知能(AI)	3後		2							1
小計(9科目)			10	4	2	1	0	0	4	0	5

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
医療テクノロジーに必要な専門科目群	臨床医学総論 I	2後	2			1				2
	臨床医学総論 II	3前	2							2
	臨床医学総論 III	3後	2		1					2
	臨床医学総論 IV	3後		1						1
	小計(4科目)	-	6	1	0	1	0	0	0	5
	医療テクノロジー特別講義 I	3後		1		1				4
	医療テクノロジー特別講義 II	3後		1		1		1		4
	医療テクノロジー特別講義 III	4前		1						4
	小計(3科目)	-	0	3	0	1	1	0	0	12
	臨床実習	4通	4			3	1	1	2	1
小計(1科目)										
卒業研究										
小計(1科目)										
小計39科目										
合計93科目										
卒業要件及び履修方法										

92単位を必修とする。選択科目はヒューマンケアの基礎科目群28単位から3単位以上、医療テクノロジーの基礎科目群9単位から4単位以上を含む、合計32単位以上選択し、総単位数124単位以上習得すること。但し、ヒューマンケア・コア科目群から6単位以上を含む。履修単位の登録の上限は半期25単位、年間45単位とする。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
医療テクノロジーに必要な専門科目群	臨床医学総論 I	2後	2			1				2
	臨床医学総論 II	3前	2							2
	臨床医学総論 III	3後	2		1					2
	臨床医学総論 IV	3後		1						1
	小計(4科目)	-	6	1	0	1	0	0	0	5
	医療テクノロジー特別講義 I	3後		1		1				4
	医療テクノロジー特別講義 II	3後		1		1		1		4
	医療テクノロジー特別講義 III	4前		1						4
	小計(3科目)	-	0	3	0	1	1	0	0	12
	臨床実習	4通	4			3	1	1	2	1
小計(1科目)										
卒業研究										
小計(1科目)										
小計39科目										
合計93科目										
卒業要件及び履修方法										

92単位を必修とする。選択科目はヒューマンケアの基礎科目群28単位から3単位以上、医療テクノロジーの基礎科目群9単位から4単位以上を含む、合計32単位以上選択し、総単位数124単位以上習得すること。但し、ヒューマンケア・コア科目群から6単位以上を含む。履修単位の登録の上限は半期25単位、年間45単位とする。

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
ヒューマンケアの基礎科目	大学入門講座	1前	1			5	2	1	5	2
	ヒューマンケア概論	1前	1			1				1
	心理学（未開講）	1前		2						
	コミュニケーション論	1前		2						1
	人間の生き方（未開講）	1前		2						1
	倫理と医療	1後		2						1
	法律と医療	1後		2						1
	社会福祉論	1後		2						1
	カウンセリング論	1後		2						1
	スポーツ健康科学 I	1前		1						1
	スポーツ健康科学 II	1後		1						1
	小計(11科目)	-	2	16	0	5	2	1	5	0
	数学 I	1前	2				1			
	数学 II	1後		2			1			
	物理 I	1前	2			1				
	物理 II	1後		2		1				
	化学 I	1前	2			1				
	化学 II	1後		2		1				
	生物 I	1前	2							1
	生物 II	1後		2						1
	確率統計学入門	2前		2						1
	小計(9科目)	-	8	10	0	2	1	0	0	3
英語	英語 I	1前	1							1
	英語 II	1後		1						1
	英語 III	2前		1						1
	科学英語	2後			1	1				
	小計(4科目)	-	1	2	1	1	0	0	0	1
	小計(24科目)	-	11	28	1	5	2	1	5	0
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	解剖生理学 I	1後	2							1
	解剖生理学 II	2前	2							1
	病理学	1後	2							1
	生化学	2前	2			1				
	基礎医学実習	1後	1			2	0	0	0	1
	小計(5科目)	-	9	0	0	2	0	0	0	4
	医学概論(関係法規を含む)	1前	2			2				
	公衆衛生学	2前	2							1
	看護学概論	2前		2						1
	感染と免疫	2後	2							1
	薬理学	2後		2						1
	臨床検査学概論	2後		1						1
	小計(6科目)	-	6	5	0	2	0	0	0	5

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	
医療テクノロジーに必要な基礎科目群	医用工学概論	1前	1			4	2		2	
	電気工学 I	1後	2		1		1		1	
	電気工学演習 I	1後			1				3	
	電気工学 II	2前		2					1	
	電気工学演習 II	2前			1				3	
	電子工学 I	2前	2				1	1		
	電子工学演習 I	2前			1		1		2	
	電子工学 II	2後		2			1	1		
	電子工学演習 II	2後			1		1		2	
	計測工学	2後	2				1			
	機械工学	2後	2			1				
	医用工学実験 I - 1	1後	1						3	1
	医用工学実験 I - 2	2前	1						3	1
	医用工学実験 II	2通	2				1		2	1
	小計(14科目)	-	13	4	4	4	2	0	3	1
医療テクノロジーに必要な専門科目群	情報科学概論	1前	2			1			1	
	情報リテラシー	1前	1						2	
	システム工学基礎	1後	2			1				
	情報処理技術基礎	1後	2			1				
	パソコン基礎演習	1通			2				2	1
	小計(5科目)	-	7	0	2	1	0	0	3	1
	小計(30科目)	-	35	9	6	4	2	0	3	1
	生体物性工学	3前	2			1				1
	医用機械工学	3後	2			1				
	生体計測装置学	3後	2			2				
医療テクノロジーに必要な専門科目群	医用機器学	3前	2			1		1	1	
	医用機器学実習	3後	1			1		1	1	
	医用画像診断装置学	3前		2						
	医用材料工学	3後	2			1				
	医用ロボティクス	3後	2							
	人工臓器概論	3後	2			1				
	小計(9科目)	-	11	6	0	3	1	1	1	1
	体外循環療法学	3前		2			1			
	体外循環療法装置学	3前	2				1			
	体外循環療法装置学実習	3後		1			1			
	血液浄化療法学	3前		2		1				
	血液浄化療法装置学	3前	2			1				
	血液浄化療法装置学実習	3後		1		1			1	
	呼吸療法学	3前		2			1		1	
	呼吸療法装置学	3前	2				1		1	
	呼吸療法装置学実習	3後		1				1	1	
	小計(9科目)	-	6	9	0	2	1	1	2	1
医療テクノロジーに必要な専門科目群	医用機器安全管理学 I	2後	2				1		1	
	医用機器安全管理学 II	2後	2				1	1		
	医用機器安全管理学実習	3前	1				1	1	1	1
	小計(3科目)	-	5	0	0	0	1	1	1	1
	医療情報処理技術	2前	2			1				
	医療情報処理技術演習	2前			1	1			1	
	医療情報システム	2前	2			1				
	医療情報システム演習	2前			1	1				1
	情報通信ネットワーク	2後	2			1			1	
	医療用IoT概論	3前	2			1			1	2
医療テクノロジーに必要な専門科目群	医療用IoTセキュリティ	3後	2			1			1	
	医用画像情報処理技術	3後		2					2	
	人工知能(AI)	3後		2						1
	小計(9科目)		10	4	2	1	0	0	4	0

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
医療テクノロジーに必要な専門科目群	臨床医学総論 I	2後	2			1				2
	臨床医学総論 II	3前	2							2
	臨床医学総論 III	3後	2			1				2
	臨床医学総論 IV	3後		1						1
	小計(4科目)	-	6	1	0	1	0	0	0	5
	医療テクノロジー特別講義 I	3後		1		1				4
	医療テクノロジー特別講義 II	3後		1		1			1	4
	医療テクノロジー特別講義 III	4前		1						4
	小計(3科目)	-	0	3	0	1	1	0	0	12
	臨床実習	4通	4			3	1	1	2	1
小計(1科目)										
卒業研究										
小計(1科目)										
小計39科目										
合計93科目										
卒業要件及び履修方法										

92単位を必修とする。選択科目はヒューマンケアの基礎科目群28単位から3単位以上、医療テクノロジーの基礎科目群9単位から4単位以上を含む、合計32単位以上選択し、総単位数124単位以上習得すること。但し、ヒューマンケア・コア科目群から6単位以上を含む。履修単位の登録の上限は半期25単位、年間45単位とする。

- (注)
 - 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となつた科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目的名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

授業内容充実のため「ヒューマンケア概論」の教員配置を「兼任教授1」から「兼任教授1、兼任講師1」に変更。

【令和4年度】

授業内容充実のため「ヒューマンケア概論」、「人間の生き方」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
助教の藤原太郎が退職となつたため「大学入門講座」の教員配置を「助教5」から「助教4」に変更。

「医用工学概論」の教員配置を「教授4、准教授2、助教2」から「教授4、准教授2、助教1、兼任・兼任1」に変更。

「医用機器学」の教員配置を「教授1、講師1、助教1」から「教授1、講師1、兼任・兼任1」に変更。

「医用機器学実習」の教員配置を「教授1、講師1、助教1、助教1」から「教授1、講師1、助教1、兼任・兼任1」に変更。

「呼吸療法学」および「呼吸療法装置学」の教員配置を「准教授1、助教1」から「准教授1、兼任・兼任1」に変更。

「呼吸療法装置学実習」の教員配置を「講師1、助教1」から「講師1、兼任・兼任1」に変更。

「臨床実習」の教員配置を「教授3、准教授1、講師1、助教2、助手1」から「教授3、准教授1、講師1、助教1、助手1」に変更。

「卒業研究」の教員配置を「教授5、准教授2、講師1、助教5」から「教授5、准教授2、講師1、助教4」に変更。

- (注)
 - 2(1)一①授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目的追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
49 科目	36 科目	8 科目	93 科目	49 科目 []	36 科目 []	8 科目 []	93 科目 []	特になし。

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。 (記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)
 - 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)
 - 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注)
 - 授業科目を未開講又は廃止したことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{93} = \boxed{0\%}$$

- (注) · 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
· 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内 容					備考		
(1) 校地等	区分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	30,681.48m ²	0m ²	0m ²	30,681.48m ²				
	運動場用地	20,822.43m ²	0m ²	0m ²	20,822.43m ²				
	小 計	51,503.91m ²	0m ²	0m ²	51,503.91m ²				
	その 他	8,769.12m ²	0m ²	0m ²	8,769.12m ²				
	合 計	60,273.03m ²	0m ²	0m ²	60,273.03m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		39,740.64m ² (39,740.64m ²)	0m ² (0m ²)	0m ² (0m ²)	39,740.64m ² (39,740.64m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		18室	6室	3室	2室 (補助職員一人)	0室 (補助職員一人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		幕張ヒューマンケア学部臨床工学科			28 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	点	点	点		
	幕張ヒューマンケア学部臨床工学科	529 [9] (529 [9])	15 [3] (15 [3])	3 [3] (3 [3])	1 (1)	143 (143)	16 (16)		
	計	529 [9] (529 [9])	15 [3] (15 [3])	3 [3] (3 [3])	1 (1)	143 (143)	16 (16)		
(6) 図 書 館		面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
		684.61m ²	50		60,000				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		606.97m ²	-		-				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度		
		教員1人当り研究費等	357千円	353千円	図書購入費	4,326千円	4,000千円		
		共同研究費等	900千円	900千円	設備購入費	124,813千円	2,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,799千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	一千円	一千円		
		学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、付随事業収入、雑収入等					

- (注)
 - ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA.C対象学部等の数値を記入してください。）
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東都大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
幕張ヒューマンケア学部	年	人	年次人	人	倍	倍	年度	年度	年度	年度	
<u>理学療法学科</u>	4	240	-	960	<u>学士</u> (理学療法学)	0.98	1.02	-	平成30	-	
<u>臨床工学科</u>	4	80	-	320	<u>学士</u> (看護学)	0.89	1.21	-	令和元	千葉県千葉市美浜区中瀬1-3	
看護学科	4	40	-	160	<u>学士</u> (看護学)	0.41	0.62	-	令和3	千葉県千葉市美浜区ひび野1-1	
ヒューマンケア学部	4	120	-	480	<u>学士</u> (看護学)	1.13	1.02	-	平成30	千葉県千葉市美浜区ひび野1-1	
看護学科	4	100	-	400	<u>学士</u>	1.05	0.93	-	平成21	-	
管理栄養学部	4	80	-	320	<u>学士</u>	0.54	0.52	-	平成30	-	
<u>管理栄養学科</u>	4	80	-	320	<u>学士</u> (栄養学)	0.54	0.52	-	平成30	埼玉県深谷市上柴町西4-2-11	
沼津ヒューマンケア学部	4	100	-	400	<u>学士</u>	0.85	0.83	-	令和3	-	
<u>看護学科</u>	4	100	-	400	<u>学士</u> (看護学)	0.85	0.83	-	令和3	静岡県沼津市日の出町1-1	
大学全体	4	520	-	2080	-	0.91	0.89	-	平成21	-	

- (注)
 - ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください（専攻科及び別科を除く）。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜幕張ヒューマンケア学部 臨床工学科＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		堀内 孝 (68) <令和3年4月> 博士(工学)
専	教授	化学 I 化学 II 科学英語 生化学 医用工学概論※ 生体物性工学※ 医用材料工学 人工臓器概論 大学入門講座 基礎医学実習 臨床実習 卒業研究
		八木 一夫 (71) <令和3年4月> 博士(工学)
専	教授	物理 I 物理 II 医用工学概論※ 機械工学 医用機械工学 医用機器工学※ 医用機器学実習 大学入門講座 卒業研究 生体計測装置学※
		渋谷 泰史 (61) <令和3年4月> 修士(心身健康科学)
専	教授	医用工学概論※ 医療テクノロジー特別講義 I※ 医療テクノロジー特別講義 II※ 大学入門講座 医学概論(関係法規を含む)※ 血液浄化療法装置学 血液浄化療法装置学実習 臨床実習 卒業研究
		大坪 茂 (50) <令和3年4月> 博士(医学)
専	教授	血液浄化療法学 臨床医学総論 I※ 大学入門講座 基礎医学実習 医学概論(関係法規を含む)※ 臨床医学総論 II※ 臨床実習 卒業研究

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		堀内 孝 (68) <令和3年4月> 博士(工学)
専	教授	化学 I 化学 II 科学英語 生化学 医用工学概論※ 生体物性工学※ 医用材料工学 人工臓器概論 大学入門講座 基礎医学実習 臨床実習 卒業研究

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		堀内 孝 (69) <令和3年4月> 博士(工学)
専	教授	化学 I 化学 II 科学英語 生化学 医用工学概論※ 生体物性工学※ 医用材料工学 人工臓器概論 大学入門講座 基礎医学実習 臨床実習 卒業研究
		八木 一夫 (72) <令和3年4月> 博士(工学)
専	教授	物理 I 物理 II 医用工学概論※ 機械工学 医用機械工学 医用機器工学※ 医用機器学実習 大学入門講座 卒業研究 生体計測装置学※
		渋谷 泰史 (62) <令和3年4月> 修士(心身健康科学)
専	教授	医用工学概論※ 医療テクノロジー特別講義 I※ 医療テクノロジー特別講義 II※ 大学入門講座 医学概論(関係法規を含む)※ 血液浄化療法装置学 血液浄化療法装置学実習 臨床実習 卒業研究
		大坪 茂 (51) <令和3年4月> 博士(医学)
専	教授	ヒューマンケア概論※ 血液浄化療法学 臨床医学総論 I※ 大学入門講座 解剖生理学 I※ 解剖生理学 II※ 基礎医学実習 医学概論(関係法規を含む)※ 臨床医学総論 II※ 臨床実習 卒業研究

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		山下 和彦 (48) <令和3年4月> 博士(工学)
専	教授	医用工学概論※ システム工学基礎 情報処理技術基礎 医療情報処理技術 医療情報処理技術演習 医療情報システム 医療情報システム演習 医療用 IoTセキュリティー※ 大学入門講座 卒業研究 情報科学概論※ 生体計測装置学※ 情報通信ネットワーク※ 医療用 IoT概論※
専	准教授	金子 和 (60) <令和3年4月> 博士(工学)
専	准教授	大学入門講座 数学 I 数学 II 医用工学概論※ 電子工学 I 電子工学演習 I 電子工学 II 電子工学演習 II 計測工学 医用工学実験 II 卒業研究 電気工学 I ※
専	准教授	濱口 淳 (48) <令和3年4月> 博士(医療科学)
専	講師	有吉 洋希 (34) <令和4年4月> 博士(医学)
兼任	講師	有吉 洋希 (33) <令和3年4月> 博士(医学)
		大学入門講座

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		山下 和彦 (48) <令和3年4月> 博士(工学)
専	教授	医用工学概論※ システム工学基礎 情報処理技術基礎 医療情報処理技術 医療情報処理技術演習 医療情報システム 医療情報システム演習 医療用 IoTセキュリティー※ 大学入門講座 卒業研究 情報科学概論※ 生体計測装置学※ 情報通信ネットワーク※ 医療用 IoT概論※
専	准教授	金子 和 (60) <令和3年4月> 博士(工学)
専	准教授	大学入門講座 数学 I 数学 II 医用工学概論※ 電子工学 I 電子工学演習 I 電子工学 II 電子工学演習 II 計測工学 医用工学実験 II 卒業研究 電気工学 I ※
専	准教授	濱口 淳 (48) <令和3年4月> 博士(医療科学)
専	講師	有吉 洋希 (34) <令和4年4月> 博士(医学)
専	講師	医用機器学※ 医用機器学実習 呼吸療法装置学実習 医用機器安全管理学 II ※ 医用機器安全管理学実習 臨床実習 卒業研究 呼吸療法学※ 呼吸療法装置学※
兼任	講師	有吉 洋希 (33) <令和3年4月> 博士(医学)
		大学入門講座

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		山下 和彦 (49) <令和3年4月> 博士(工学)
専	教授	医用工学概論※ システム工学基礎 情報処理技術基礎 医療情報処理技術 医療情報処理技術演習 医療情報システム 医療情報システム演習 医療用 IoTセキュリティー※ 大学入門講座 卒業研究 情報科学概論※ 生体計測装置学※ 情報通信ネットワーク※ 医療用 IoT概論※
専	准教授	金子 和 (61) <令和3年4月> 博士(工学)
専	准教授	大学入門講座 数学 I 数学 II 医用工学概論※ 電子工学 I 電子工学演習 I 電子工学 II 電子工学演習 II 計測工学 医用工学実験 II 卒業研究 電気工学 I ※
専	准教授	濱口 淳 (49) <令和3年4月> 博士(医療科学)
専	准教授	大学入門講座 医用工学概論※ 体外循環療法学 体外循環療法装置学 体外循環療法装置学実習 医用機器安全管理学 I ※ 医用機器安全管理学 II ※ 医用機器安全管理学実習 臨床実習 卒業研究 呼吸療法学※ 呼吸療法装置学※
専	講師	有吉 洋希 (35) <令和4年4月> 博士(医学)
専	講師	大学入門講座 医用機器学※ 医用機器学実習 呼吸療法装置学実習 医用機器安全管理学 II ※ 医用機器安全管理学実習 大学入門講座 臨床実習 卒業研究

【認可時又は届出時】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		山田 寛 (63) <令和3年4月> 博士(工学)
		大学入門講座 医用工学概論※ 電気工学 I ※ 電気工学演習 I 電気工学 II 電気工学演習 II 医用工学実験 I-1 医用工学実験 I-2 情報科学概論※ 情報通信ネットワーク※ 卒業研究
専 助教		肥田 泰幸 (57) <令和3年4月> 専門学校卒
		大学入門講座 血液浄化療法装置学実習 医用機器安全管理学 I ※ 医用機器安全管理学実習 医療用IoTセキュリティ※ 医療テクノロジー特別講義 II ※ 臨床実習 卒業研究
専 助教		藤原 太郎 (52) <令和3年4月> 博士(工学)
		大学入門講座 医用工学概論※ 医用機器学※ 医用機器学実習 呼吸療法学※ 呼吸療法装置学※ 呼吸療法装置学実習 臨床実習 卒業研究
専 助教		
専 助教		野口 展士 (34) <令和3年4月> 博士(工学)
		大学入門講座 電気工学演習 I 電気工学演習 II 電子工学演習 I 電子工学演習 II 医用工学実験 I-1 医用工学実験 I-2 医用工学実験 II 情報リテラシー※ パソコン基礎演習※ 医用画像情報処理技術※ 卒業研究

【令和3年度】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		山田 寛 (63) <令和3年4月> 博士(工学)
		大学入門講座 医用工学概論※ 電気工学 I ※ 電気工学演習 I 電気工学 II 電気工学演習 II 医用工学実験 I-1 医用工学実験 I-2 情報科学概論※ 情報通信ネットワーク※ 卒業研究
専 助教		肥田 泰幸 (57) <令和3年4月> 専門学校卒
		大学入門講座 血液浄化療法装置学実習 医用機器安全管理学 I ※ 医用機器安全管理学実習 医療用IoTセキュリティ※ 医療テクノロジー特別講義 II ※ 臨床実習 卒業研究
専 助教		藤原 太郎 (52) <令和3年4月> 博士(工学)
		大学入門講座 医用工学概論※ 医用機器学※ 医用機器学実習 呼吸療法学※ 呼吸療法装置学※ 呼吸療法装置学実習 臨床実習 卒業研究
専 助教		
専 助教		野口 展士 (34) <令和3年4月> 博士(工学)
		大学入門講座 電気工学演習 I 電気工学演習 II 電子工学演習 I 電子工学演習 II 医用工学実験 I-1 医用工学実験 I-2 医用工学実験 II 情報リテラシー※ パソコン基礎演習※ 医用画像情報処理技術※ 卒業研究

【令和4年度】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		山田 寛 (64) <令和3年4月> 博士(工学)
		大学入門講座 医用工学概論※ 電気工学 I ※ 電気工学演習 I 電気工学 II 電気工学演習 II 医用工学実験 I-1 医用工学実験 I-2 情報科学概論※ 情報通信ネットワーク※ 卒業研究
専 助教		肥田 泰幸 (58) <令和3年4月> 専門学校卒
		大学入門講座 血液浄化療法装置学実習 医用機器安全管理学 I ※ 医用機器安全管理学実習 医療用IoTセキュリティ※ 医療テクノロジー特別講義 II ※ 臨床実習 卒業研究
専 助教		
兼任 助教		藤原 太郎 (52) <令和3年4月> 博士(工学)
		大学入門講座 医用工学概論※ 医用機器学※ 医用機器学実習 呼吸療法学※ 呼吸療法装置学※ 呼吸療法装置学実習 臨床実習 卒業研究
専 助教		野口 展士 (35) <令和3年4月> 博士(工学)
		大学入門講座 電気工学演習 I 電気工学演習 II 電子工学演習 I 電子工学演習 II 医用工学実験 I-1 医用工学実験 I-2 医用工学実験 II 情報リテラシー※ パソコン基礎演習※ 医用画像情報処理技術※ 卒業研究

【認可時又は届出時】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		土井根 礼音 (32) <令和3年4月> 博士(工学)
専	助教	大学入門講座 電気工学演習 I 電気工学演習 II 電子工学演習 I 電子工学演習 II 医用工学実験 I-1 医用工学実験 I-2 医用工学実験 II 情報リテラシー※ パソコン基礎演習※ 医療情報処理技術演習 医療用IoT概論※ 医用画像情報処理技術※ 卒業研究
兼担	教授	櫻庭 茂 (73) <令和3年4月> 博士(医学) ヒューマンケア概論
兼担	教授	杉田 昭栄 (68) <令和3年4月> 博士(農学) 生物 II
兼担	教授	薦田 烈 (65) <令和3年4月> 博士(医学) 解剖生理学 I 解剖生理学 II 臨床医学総論 II※
兼担	教授	勝部 憲一 (62) <令和4年4月> 博士(医学) 臨床医学総論 I※
兼担	教授	鈴木 剛 (57) <令和4年4月> 博士(医学) 臨床医学総論 I※
兼担	教授	神山 吉輝 (56) <令和4年4月> 博士(保健学) 公衆衛生学

【令和3年度】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		土井根 礼音 (32) <令和3年4月> 博士(工学)
専	助教	大学入門講座 電気工学演習 I 電気工学演習 II 電子工学演習 I 電子工学演習 II 医用工学実験 I-1 医用工学実験 I-2 医用工学実験 II 情報リテラシー※ パソコン基礎演習※ 医療情報処理技術演習 医療用IoT概論※ 医用画像情報処理技術※ 卒業研究
兼任	講師	田上 美千佳 (59) <令和3年4月> 博士(精神看護学) ヒューマンケア概論※
兼任	教授	杉田 昭栄 (68) <令和3年4月> 博士(農学) 生物 II
兼任	教授	薦田 烈 (65) <令和3年4月> 博士(医学) 解剖生理学 I 解剖生理学 II
兼任	教授	勝部 憲一 (62) <令和4年4月> 博士(医学) ヒューマンケア概論※ 臨床医学総論 I※
兼任	教授	鈴木 剛 (57) <令和4年4月> 博士(医学) 臨床医学総論 I※
兼任	教授	神山 吉輝 (56) <令和4年4月> 博士(保健学) 公衆衛生学

【令和4年度】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		土井根 礼音 (33) <令和3年4月> 博士(工学)
専	助教	大学入門講座 電気工学演習 I 電気工学演習 II 電子工学演習 I 電子工学演習 II 医用工学実験 I-1 医用工学実験 I-2 医用工学実験 II 情報リテラシー※ パソコン基礎演習※ 医療情報処理技術演習 医療用IoT概論※ 医用画像情報処理技術※ 卒業研究
兼任	学長	吉岡 俊正 (67) <令和4年4月> 博士(医学) ヒューマンケア概論※
兼任	教授	杉田 昭栄 (69) <令和3年4月> 博士(農学) 生物 II
兼任	講師	薦田 烈 (65) <令和3年4月> 博士(医学) 臨床医学総論 II※
兼任	教授	勝部 憲一 (63) <令和4年4月> 博士(医学) ヒューマンケア概論※ 解剖生理学 I※ 解剖生理学 II 感染と免疫 臨床医学総論 I※
兼任	教授	鈴木 剛 (58) <令和4年4月> 博士(医学) 臨床医学総論 I※
兼任	教授	神山 吉輝 (57) <令和4年4月> 博士(保健学) 公衆衛生学

【認可時又は届出時】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平井 祥枝 (66) <令和3年4月> 学士(英文学)
		英語 I 英語 II 英語 III
兼任	講師	Alamprese Tiziana (59) <令和3年4月> 修士(経済学)
		人間の生き方
兼任	講師	宮本 浩行 (53) <令和3年4月> 博士(保健学)
		生物 I
兼任	講師	高橋 節子 (48) <令和3年4月> 博士(学術)
		心理学
兼任	講師	吉田(信岡) 真咲 (43) <令和3年4月> 修士(人文科学)
		スポーツ健康科学 I スポーツ健康科学 II
兼任	講師	山口 慶子 (40) <令和3年4月> 修士(人文科学)
		コミュニケーション論 カウンセリング論
兼任	講師	島津 実伸 (39) <令和3年4月> 博士(法務)
		倫理と医療
兼任	講師	十時(杉田) 麻衣子 (37) <令和3年4月> 博士(法務)
		法律と医療
兼任	講師	関 健二郎 (52) <令和4年4月> 博士(医学)
		薬理学

【令和3年度】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平井 祥枝 (66) <令和3年4月> 学士(英文学)
		英語 I 英語 II 英語 III
兼任	講師	Alamprese Tiziana (59) <令和3年4月> 修士(経済学)
		人間の生き方
兼任	講師	宮本 浩行 (53) <令和3年4月> 博士(保健学)
		生物 I
兼任	講師	高橋 節子 (48) <令和3年4月> 博士(学術)
		心理学
兼任	講師	吉田(信岡) 真咲 (43) <令和3年4月> 修士(人文科学)
		スポーツ健康科学 I スポーツ健康科学 II
兼任	講師	山口 慶子 (40) <令和3年4月> 修士(人文科学)
		コミュニケーション論 カウンセリング論
兼任	講師	中村 香理 (33) <令和3年4月> 博士(社会科学)
		カウンセリング論
兼任	講師	島津 実伸 (39) <令和3年4月> 博士(法務)
		倫理と医療
兼任	講師	十時(杉田) 麻衣子 (37) <令和3年4月> 博士(法務)
		法律と医療
兼任	講師	関 健二郎 (51) <令和4年4月> 博士(医学)
		薬理学

【令和4年度】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平井 祥枝 (67) <令和3年4月> 学士(英文学)
		英語 I 英語 II 英語 III
兼任	教授	舟橋 久幸 (59) <令和4年4月> 博士(医学)
		生物 I
兼任	講師	高橋 節子 (49) <令和3年4月> 博士(学術)
		心理学
兼任	講師	吉田(信岡) 真咲 (44) <令和3年4月> 修士(人文科学)
		スポーツ健康科学 I スポーツ健康科学 II
兼任	講師	山田 圭介 (35) <令和3年4月> 博士(心理学)
		コミュニケーション論 人間の生き方※
兼任	講師	中村 香理 (34) <令和3年4月> 博士(社会科学)
		カウンセリング論
兼任	講師	島津 実伸 (39) <令和3年4月> 博士(法務)
		倫理と医療
兼任	准教授	望月 由紀 (52) <令和4年4月> 博士(学術)
		人間の生き方※ 倫理と医療
兼任	講師	十時(杉田) 麻衣子 (38) <令和3年4月> 博士(法務)
		法律と医療
兼任	講師	関 健二郎 (52) <令和4年4月> 博士(医学)
		薬理学

【認可時又は届出時】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河村 俊治 (63) <令和3年4月> 博士(医学)
		病理学
兼任	講師	小宇田(村本)智子 (46) <令和4年4月> 博士(医学)
		感染と免疫
兼任	講師	川崎 泰亮 (36) <令和4年4月> 学士(教養)
		臨床検査学概論
兼任	講師	太田 裕司 (60) <令和5年4月> 博士(工学)
		生体物性工学※ 医用ロボティクス
兼任	講師	山内 康司 (56) <令和5年4月> 博士(工学)
		文化人類学
兼任	教授	土肥 健純 (75) <令和5年4月> 博士(工学)
		医用画像診断装置学
兼任	講師	富井 直輝 (39) <令和5年4月> 博士(工学)
		人工知能(AI)
兼任	講師	佐々木 優二 (56) <令和5年4月> 学士(教養)
		医療テクノロジー特別講義I※
兼任	講師	近藤 敏哉 (56) <令和5年4月> 専門学校卒
		医療テクノロジー特別講義I※
兼任	講師	配野 治 (50) <令和5年4月> 修士(経営管理)
		医療テクノロジー特別講義I※
兼任	講師	高橋 初 (42) <令和5年4月> 学士(学術)
		医療テクノロジー特別講義I※
兼任	講師	川崎 忠行 (71) <令和5年4月> 専門学校卒
		医療テクノロジー特別講義II※
兼任	講師	金山 洋二 (66) <令和5年4月> 工業高専卒
		医療テクノロジー特別講義II※

【令和3年度】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	
兼任	講師	康徳東 (43) <令和3年4月> 博士(医学)
		病理学
兼任	講師	小宇田(村本)智子 (45) <令和4年4月> 博士(医学)
		感染と免疫
兼任	講師	川崎 泰亮 (35) <令和4年4月> 学士(教養)
		臨床検査学概論
兼任	講師	太田 裕司 (58) <令和5年4月> 博士(工学)
		生体物性工学※ 医用ロボティクス
兼任	講師	山内 康司 (54) <令和5年4月> 博士(工学)
		文化人類学
兼任	教授	土肥 健純 (73) <令和5年4月> 博士(工学)
		医用画像診断装置学
兼任	講師	富井 直輝 (37) <令和5年4月> 博士(工学)
		人工知能(AI)
兼任	講師	佐々木 優二 (54) <令和5年4月> 学士(教養)
		医療テクノロジー特別講義I※
兼任	講師	近藤 敏哉 (54) <令和5年4月> 専門学校卒
		医療テクノロジー特別講義I※
兼任	講師	配野 治 (48) <令和5年4月> 修士(経営管理)
		医療テクノロジー特別講義I※
兼任	講師	高橋 初 (40) <令和5年4月> 学士(学術)
		医療テクノロジー特別講義I※
兼任	講師	川崎 忠行 (69) <令和5年4月> 専門学校卒
		医療テクノロジー特別講義II※
兼任	講師	金山 洋二 (64) <令和5年4月> 工業高専卒
		医療テクノロジー特別講義II※

【令和4年度】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	
兼任	講師	康徳東 (44) <令和3年4月> 博士(医学)
		病理学
兼任	講師	川崎 泰亮 (36) <令和4年4月> 学士(教養)
		臨床検査学概論
兼任	講師	太田 裕司 (59) <令和5年4月> 博士(工学)
		生体物性工学※ 医用ロボティクス
兼任	講師	山内 康司 (55) <令和5年4月> 博士(工学)
		文化人類学
兼任	教授	土肥 健純 (74) <令和5年4月> 博士(工学)
		医用画像診断装置学
兼任	講師	富井 直輝 (38) <令和5年4月> 博士(工学)
		人工知能(AI)
兼任	講師	佐々木 優二 (55) <令和5年4月> 学士(教養)
		医療テクノロジー特別講義I※
兼任	講師	近藤 敏哉 (55) <令和5年4月> 専門学校卒
		医療テクノロジー特別講義I※
兼任	講師	配野 治 (49) <令和5年4月> 修士(経営管理)
		医療テクノロジー特別講義I※
兼任	講師	高橋 初 (41) <令和5年4月> 学士(学術)
		医療テクノロジー特別講義I※
兼任	講師	川崎 忠行 (70) <令和5年4月> 専門学校卒
		医療テクノロジー特別講義II※
兼任	講師	金山 洋二 (65) <令和5年4月> 工業高専卒
		医療テクノロジー特別講義II※

【認可時又は届出時】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 聰 (50) <令和5年4月> 博士(医学)
		医療テクノロジー特別講義Ⅱ※
兼任	講師	梅田 千典 (42) <令和5年4月> 学士(工学)
		医療テクノロジー特別講義Ⅱ※
兼任	講師	酒井 清孝 (82) <令和6年4月> 工学博士
		医療テクノロジー特別講義Ⅲ※
兼任	講師	山沢 宜行 (70) <令和6年4月>
		医療テクノロジー特別講義Ⅲ※
兼任	講師	木島 利彦 (66) <令和6年4月> 修士(工学)
		医療テクノロジー特別講義Ⅲ※
兼任	講師	押山 広明 (60) <令和6年4月> 学士(工学)
		医療テクノロジー特別講義Ⅲ※
兼任	教授	根本 清次 (66) 博士(医学) <令和3年4月>
		看護学概論 大学入門講座
兼任	講師	石黒 友康 (65) <令和3年4月> 博士(医学)
		大学入門講座
兼任	講師	高橋 邦泰 (65) <令和3年4月> 博士(医学)
		大学入門講座
兼任	講師	三浦 邦久 (56) <令和3年4月> 博士(医学)
		基礎医学実習 臨床医学総論Ⅱ※ 臨床医学総論Ⅲ※
兼任	講師	大森 正博 (55) <令和3年4月> 修士(経済学)
		確立統計学入門 社会福祉論
兼任	講師	楠田 佳緒 (33) <令和4年4月> 博士(理学)
		医療情報システム演習
兼任	講師	桑名 健太 (41) <令和5年4月> 博士(工学)
		医療用IoT概論※

【令和3年度】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 聰 (48) <令和5年4月> 博士(医学)
		医療テクノロジー特別講義Ⅱ※
兼任	講師	梅田 千典 (40) <令和5年4月> 学士(工学)
		医療テクノロジー特別講義Ⅱ※
兼任	講師	酒井 清孝 (79) <令和6年4月> 工学博士
		医療テクノロジー特別講義Ⅲ※
兼任	講師	山沢 宜行 (67) <令和6年4月>
		医療テクノロジー特別講義Ⅲ※
兼任	講師	木島 利彦 (63) <令和6年4月> 修士(工学)
		医療テクノロジー特別講義Ⅲ※
兼任	講師	押山 広明 (57) <令和6年4月> 学士(工学)
		医療テクノロジー特別講義Ⅲ※
兼任	教授	根本 清次 (66) 博士(医学) <令和3年4月>
		看護学概論 大学入門講座
兼任	講師	石黒 友康 (65) <令和3年4月> 博士(医学)
		大学入門講座
兼任	講師	高橋 邦泰 (65) <令和3年4月> 博士(医学)
		大学入門講座
兼任	講師	三浦 邦久 (56) <令和3年4月> 博士(医学)
		基礎医学実習 臨床医学総論Ⅱ※ 臨床医学総論Ⅲ※
兼任	講師	大森 正博 (55) <令和3年4月> 修士(経済学)
		確立統計学入門 社会福祉論
兼任	講師	楠田 佳緒 (32) <令和4年4月> 博士(理学)
		医療情報システム演習
兼任	講師	桑名 健太 (39) <令和5年4月> 博士(工学)
		医療用IoT概論※

【令和4年度】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 聰 (49) <令和5年4月> 博士(医学)
		医療テクノロジー特別講義Ⅱ※
兼任	講師	梅田 千典 (41) <令和5年4月> 学士(工学)
		医療テクノロジー特別講義Ⅱ※
兼任	講師	酒井 清孝 (80) <令和6年4月> 工学博士
		医療テクノロジー特別講義Ⅲ※
兼任	講師	山沢 宜行 (68) <令和6年4月>
		医療テクノロジー特別講義Ⅲ※
兼任	講師	木島 利彦 (64) <令和6年4月> 修士(工学)
		医療テクノロジー特別講義Ⅲ※
兼任	講師	押山 広明 (58) <令和6年4月> 学士(工学)
		医療テクノロジー特別講義Ⅲ※
兼任	教授	根本 清次 (67) 博士(医学) <令和3年4月>
		看護学概論 大学入門講座
兼任	講師	石黒 友康 (66) <令和3年4月> 博士(医学)
		大学入門講座
兼任	講師	高橋 邦泰 (66) <令和3年4月> 博士(医学)
		大学入門講座
兼任	講師	三浦 邦久 (57) <令和3年4月> 博士(医学)
		基礎医学実習 臨床医学総論Ⅱ※ 臨床医学総論Ⅲ※
兼任	講師	大森 正博 (56) <令和3年4月> 修士(経済学)
		確立統計学入門 社会福祉論
兼任	講師	楠田 佳緒 (33) <令和4年4月> 博士(理学)
		医療情報システム演習
兼任	講師	桑名 健太 (40) <令和5年4月> 博士(工学)
		医療用IoT概論※

【認可時又は届出時】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏　名 (年　齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	齋藤　綾 (53) <令和5年4月> 博士（医学）
		臨床医学総論Ⅲ※ 臨床医学総論Ⅳ

【令和3年度】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏　名 (年　齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	齋藤　綾 (51) <令和5年4月> 博士（医学）
		臨床医学総論Ⅲ※ 臨床医学総論Ⅳ

【令和4年度】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏　名 (年　齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	齋藤　綾 (52) <令和5年4月> 博士（医学）
		臨床医学総論Ⅲ※ 臨床医学総論Ⅳ

- (注)
 - 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ①～④担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・櫻庭繁兼任教授が就任辞退となつたため、「ヒューマンケア概論」において勝部憲一兼任教授に変更、田上美千佳兼任講師を追加。
- ・河村俊治兼任講師が就任辞退となつたため、「病理学」において康徳東兼任講師に変更。
- ・山口慶子兼任講師が就任辞退となつたため、「コミュニケーション論」を山田圭介兼任講師に変更。「カウンセリング論」を中村香里兼任講師に変更。

【令和4年度】

- ・櫻庭繁兼任教授が就任辞退となつたため、「ヒューマンケア概論」をオムニバス科目とした。吉岡俊正学長、勝部憲一兼任教授となり、大坪茂教授を追加。
- ・Alamprese Tiziana兼任講師が就任辞退となつたため、「人間の生き方」をオムニバス科目とし、山田圭介兼任講師、望月由紀兼任准教授に変更。
- ・宮本浩行講師が就任辞退となつたため、「生物I」において舟橋久幸兼任教授に変更。
- ・河村俊治兼任講師が就任辞退となつたため、「病理学」において康徳東兼任講師に変更。
- ・薦田烈教授が退職となつたため、「解剖生理学I」、「解剖生理学II」において勝部憲一兼任教授に変更。
- ・薦田烈兼任教授が退職となつたため、「臨床医学総論I」において兼任教授から兼任講師に変更。
- ・「感染と免疫」において、教育の質を向上させるため小宇田智子兼任講師から医師の勝部憲一教授を兼任に変更。
- ・山口慶子兼任講師が就任辞退となつたため、「コミュニケーション論」を山田圭介兼任講師に変更。「カウンセリング論」を中村香里兼任講師に変更。
- ・藤原太郎助教が退職となつたため、「大学入門講座」、「医用工学概論」、「医用機器学」、「医用機器学実習」、「呼吸療法学」、「呼吸療法装置学」、「臨床実習」、「卒業研究」において助教から兼任講師に変更。

(注) ① 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
なお、設置認可審査時に教員審査省略となつている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- ・不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助 手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助 手 (B')
5	2	1	5	13	1	5	2	1	4	12	1
(5)	(2)	(0)	(5)	(12)	(1)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助 手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助 手 (D')
5	2	1	4	12	1	5	2	1	4	12	1
[0]	[0]	[0]	[△1]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△1]	[△1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、駆け出設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合には、

「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	2 名	3 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{12}{13} = \boxed{92.3} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{2}{12} = \boxed{16.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A')}} = \frac{1}{1} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人		必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
			選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
			自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
			計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目
<p>(注) <ul style="list-style-type: none"> 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) 一②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。 また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。 </p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 専任教員が担当する（している）場合は「①」 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 </div>										

(3) 一② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	助教	藤原 太郎	R4. 3	必修	大学入門講座	③	R4. 3. 31付 一身上の都合（4）			
				必修	医用工学概論	②				
				必須	医用機器学	②				
				必修	医用機器学実習	②				
				選択	呼吸療法学	②				
				必修	呼吸療法装置学	②				
				選択	呼吸療法装置学実習	②				
				必修	臨床実習	③				
				必修	卒業研究	③				
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人		必修	7 科目	必修	0 科目	必修	4 科目	必修	3 科目
			選択	2 科目	選択	0 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
			自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
			計	9 科目	計	0 科目	計	6 科目	計	3 科目

(注)

- 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。

- 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -①・(3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1 人	必修	7 科目	必修	0 科目	必修	4 科目	必修	3 科目
	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	9 科目	計	0 科目	計	6 科目	計	3 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{13} = 7.69 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
合計				後任補充状況の集計				
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- また、担当予定であった科目的後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

藤原太郎の辞任について、合計9つの科目を担当していたが、「大学入門講座」、「臨床実習」、「卒業研究」は合同で開講している科目であり、他の専任教員にて十分に補うことができている。 また、「医用工学概論」、「医用機器学」、「医用機器学実習」、「呼吸療法学」、「呼吸療法装置学」、「呼吸療法装置学実習」については専任教員が担当する予定であるが、担当予定教員の教員審査が終わるまでは藤原太郎が兼任で担当するため、学生の教育には影響はない。
学生への周知は、シラバスおよび学生ポータルサイトならびにガイダンスにて周知している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認可時 (令和2年)	1. 「医療テクノロジー学科」という学科名称について、臨床工学の専攻分野として学術的に妥当な名称で、かつ、国際通用性を有するものか判断しながら、本学で養成する人材像が臨床工学技士であることや、授与する学位名称が「学士(臨床工学)」であることに鑑み、学科名称を「臨床工学科」に改めるとともに、英語名称についても整合性のあるものとすること。	遵守事項 ご指摘を受け、学科名称を「臨床工学科」へ変更、また、英語名称を学科名と整合性を図るため「Department of Clinical Engineering」とし、令和2年10月27日付で名称変更の届出を行った。(3)	履行済
認可時 (令和2年)	2. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	遵守事項 今後、適切に定年管理を行い、完成年度に向けて計画的な教員の採用計画を検討、実施していく。(3)	履行済 人事委員会において教員の年齢構成を見直し、採用計画を立案、実施する。(3)
設置計画履行状況 調査時 (令和2年)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (管理栄養学部管理栄養学科)	指摘事項 (改善) ・新型コロナウィルス感染拡大により、対面での広報活動が制限された影響もあり、前年度を下回る充足率となってしまった。(3)	履行中 ・情報通信技術を活用した新たな広報戦略を工夫・実施するとともに、感染対策に気を付けながら対面での広報活動も行い、学生確保に努める。(3)
設置計画履行状況 調査時 (令和3年)	専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めるとともに、今後、新たに教員の採用及び昇格の選考を行う際には設置計画履行状況等調査における教員審査を受審すること。 (管理栄養学部管理栄養学科)	指摘事項 (改善) 専任教員数の補充のため、現在、採用と昇格の選考を行い、令和4年6月にAC教員審査の受審予定となっている。(4)	履行中 令和4年6月のAC教員審査の結果を受け、欠員となる助手の補充を行う予定である。(4)
設置計画履行状況 調査時 (令和3年)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (管理栄養学部管理栄養学科)	指摘事項 (改善) これまで、広報活動に注力し、様々な取り組みを行ってきたが、平均定員超過率が0.52と定員の確保には至らないため、適正な定員数への定員減を検討する。(4)	履行中 適正な定員とするため、大学内での定員の付け替えを含め、定員の見直しを進めること。(令和6年度予定)(4)

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画		
設置計画履行状況 調査時 (令和3年)	教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (幕張ヒューマンケア学部臨床工学科)	指摘事項 (改善)	臨床工学技士という職業及び臨床工学科の教育内容の周知に注力し広報活動を実施し、入学者は8名から25名と大幅に増加はしたものの、定員充足には至らなかった。 (4)	履行中	初年度より増加はしたもの、まだ定員充足には至らないため、広報の手段等を検討し、更なる臨床工学科の教育および職業像の周知に力を入れ広報を行う。 (4)

- (注)
 - 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
 - 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<幕張ヒューマンケア学部 臨床工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

- ① 実施体制
 - a 委員会の設置状況
 - 平成30年より東都大学FD委員会（幕張ヒューマンケア学部）を設置。
 - b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
 - 教員8名、職員1名により、毎月1回委員会を開催した。
 - c 委員会の審議事項等
 - ・ 2021年度活動計画、2022年度活動計画について
 - ・ 授業評価アンケートの実施について
 - ・ FD研修、授業相互参観の実施について
- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - ・ 教員相互の授業参観
 - ・ FD (SD) 研修会
 - b 実施方法
 - ・ 事前申し込みによる実施
 - ・ オンデマンド講演
 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 看護学科22件、理学療法学科19件、臨床工画家15件の相互授業参観が実施された。
 - ・ 第1回「高等教育と本学の教育の方向性」（東都大学 学長 吉岡俊正）
アンケート回収55名
 - ・ 第2回「コントロール感を育む環境要因－発達と学習の心理学－」（奈良教育大学 学校教育講座 堀麻佑子）
アンケート回収45名
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - アンケート結果や質問事項等への回答をフィードバックし、授業改善に活用している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各授業科目の最終回に学生による授業評価アンケートを実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケート結果は図書館に備え付けて学生に公開。

(注) ①a 委員会の設置状況には、関係規程等を転載又は添付すること。

②実施状況には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学自己点検評価委員会において、幕張ヒューマンケア学部臨床工学科の設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価を実施する予定であるが、令和3年度はまだ2年目の一般教養科目・専門基礎科目が中心であり、全体的な評価はこれからとなる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和5年2月 公表予定（令和3年度分）

b 公表方法

自己点検・評価報告書を作成し、大学ホームページ上に公開するとともに、学生閲覧用として図書館に備えつけている。

③ 認証評価を受ける計画

令和4年10月に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるため、学内にて準備中である。

(注) ① 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に關わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 · 無]

« a で「有」の場合»

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 · 公表後2~3ヶ月以内 · 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 · その他（ ）]

« a で公表「無」の場合»

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。